

ストップ・ザ・格差社会！
すべての働く者の連携で
「安心社会」を切り開こう！

第25回定期大会開催

～労働力のパワーアップで「守る」「変える」「創る」の実践～

連合長野は10月25日、ホテル国際21 3階「千歳」の間において、第25回定期大会を開催し、「2014・2015年度運動方針」「役員体制」などを決定した。

大会の冒頭、中山会長のあいさつでは、まず、震災復興に触れ、『東日本大震災、長野県北部地震から得た教訓を風化させてはならない。震災を忘れてはならない。被災地の復旧・復興は大変遅れている。一人ひとりが支援活動を模索し、今後も組織を挙げて復旧・復興に全力を尽くす。』2点目として、県内の厳しい労働環境の現状から『生活が厳しい非正規労働者の割合は38.8%にも及んでいる。我々はその状況をきちんと見据え、格差が拡大・固定化していく中で労働組合が中心となり、すべての働く者を運動の枠内に入れ、取り組んで行く。』3点目として、自公政権が進める労働法制の改悪と賃金底上げによるデフレ脱却について『正社員0・^{ゼロ}残業代0・^{ゼロ}首切り自由などをはじめとした労働法制の改悪は絶対に許さない。また、デフレ脱却には早急な賃金底上げが必要である。底堅い内需に支えられた安定した社会の実現に向け、STOP THE 格差社会の取り組みと2014春季生活闘争に全力を挙げる。』4点目として、かつての『中間層』を基盤とした社会復活のため『連合長野が福祉事業団体と更に深く連携して、積極的に社会運動化していくことが一番の発信力となる。そのためには組織拡大も重要である。』5点目、政治との関係として『我々は、政策・制度実現のために政治活動を行っている。働くことを軸とする安心社会の実現に向



働くことを軸とした安心社会実現のため
団結してガンバロー!!

け、まずは日常の政策論議を優先して行くことで政党・政治家との連携を図っていく。』最後に『働く者の連帯でこの危機を乗り越えていきたい。本日の大会を契機に意識を共有化し運動をスタートする。』と述べ、運動の社会化を訴えた。

大会での新年度方針は、『今後の5年・10年先に、現状よりさらに厳しい労働情勢に遭遇することを見据えて、5つの運動の力点・6つの各論』として根橋事務局長から提起された。

この方針に対し、『TPPについて』『春闘方針について』『官民の交流の場』、質問・意見が出され、根橋事務局長から答弁がなされた。

運動方針(案)・予算(案)・役員改選(案)それぞれ満場一致で可決され、特別決議・大会宣言が承認され、中山会長の団結ガンバローで大会を締めくくった。



あいさつする中山連合長野会長

[自治労 雨宮代議員]



地方交付税減額、労使自治への国の介入による地方公務員賃金カット阻止のたたかいについては、春闘期における知事要請の一環として申し入れ等行っていたが感謝申し上げる。

千曲市職労では、青年部が交渉に参加し若年層のカット率を0.5%押し戻すことができた。この行動の源となったのは、民間労組の仲間との交流。「なぜもっと怒らないのか?民間にも波及するからしっかりやってくれ。」と叱咤激励を受けた。現状、民間労組の仲間が当たり前に行っている運動ができていない単組が少なくない。官民の仲間が腹を割って話し合う場が必要。小グループでの相互の意見交換ができる場を地協・青年委員会の中に作っていただきたい。

いくつかという視点が重要である。

青年委員会は、主体的に論議をして活動を創り上げ、交流をすすめる組織になって来ている。青年層からも「産業を超えて話し合える良い場である。『交流・意見交換の場を増やしてほしい。』といった意見もある。皆さんからのご意見を踏まえながら参加関与型の活動を目指していく。

真剣に耳を傾ける代議員

2



退任役員一覧

敬称略

副会長	JP労組	原 田 幸 一
副会長	JAM甲信	関 政 人
執行委員	電力総連	竹 内 靖
執行委員	運輸県連	山 田 広 政

2014年度 役員名簿

(敬称略)

会長	中 山 千 弘	UAゼンセン
副会長	高 橋 精 一	自治労
	小 池 政 和	電機連合
	林 光 彦	JAM甲信
	師 玉 憲 治 郎	UAゼンセン
	米 持 正 道	JP労組
	寺 澤 博 幸	電力総連
	小 林 和 雄	農団労
	中 村 雅 代	自治労
事務局長	根 橋 美 津 人	電機連合
副事務局長	徳 武 淳	情報労連
	黒 柳 浩 樹	自治労
執行委員	村 山 智 彦	自治労
	伊 東 浩	電機連合
	千 野 由 香 里	電機連合
	櫻 井 由 紀 夫	JAM甲信
	中 村 主 計	UAゼンセン
	鈴 木 伸 一	自動車総連

執行委員	山 本 龍 三	JP労組
	黒 岩 典 光	電力総連
	斉 藤 登 美 恵	電力総連
	三 村 光 正	情報労連
	小 岩 洋 平	農団労
	鈴 木 武 志	運輸県連
	大 久 保 真 也	JR総連
	石 川 暁 経	フード連合
	若 林 茂	私鉄県連
	山 下 和 彦	基幹労連
	内 堀 泰 徳	全電線
	芦 沢 守	全国一般
	下 條 広 道	森林労連
	矢 崎 真 治	国公総連
	栗 林 正 直	印刷労連
会計監査	塩 原 康 之	化学総連
	塩 原 利 明	全労金
	松 井 謙 宏	JR連合

ふれ愛資金寄贈団体に目録を贈呈



贈呈を受けた3団体の代表者の皆さん

連合長野は、社会貢献活動の一環として「ふれ愛資金特別会計」を構成組織・地域協議会のご協力によるカンパ金等で運営しています。

2013年度は、東日本大震災の復興支援・マリ共和国への国際協力米等の支援や地域で社会貢献活動を実施している3団体等への寄付など、2,801,160円の拠出を行ってきました。

寄付を行った外国籍児童支援会議サンプラプロジェクト・長野パラリンピック10周年記念ドリームサポートプロジェクト・第40回あしながPウォーク10長野コース実行委員会に対し、第25回定期大会の席上で目録の贈呈式を行いました。

わたし♡ミカク
R3500

将来のこと、自分のこと、
しっかり考える“わたし”になりたい！
わたしの積立

【シュシュ】
chou・chou series
誕生

ここから始まる新しい“わたし”
chou・chou futur
【シュシュ フトゥール】

こども積立
chou・chou
【シュシュ】

今もこれからも輝く女性に
chou・chou plus
【シュシュ プリュス】

もれなく選べる！
chou・chou シリーズをご契約いただいた方全員に
(全6種)から
オリジナル通帳ケース お好きな1つをプレゼント！

さらに、
今だけ！ 年間お積立額6万円以上のご契約で
期間：2013.10.1～2014.3.31
「女子力応援グッズ」をプレゼント！

※写真は一例です。

オリジナル通帳ケース・女子力応援グッズは数に限りがあり、ご希望のデザイン・グッズをお選びいただけません場合がございます。店頭に説明書をご用意しております。詳しくはお近くの〈長野ろうきん〉にお問い合わせください。

長野ろうきん 検索 2013年10月1日現在